



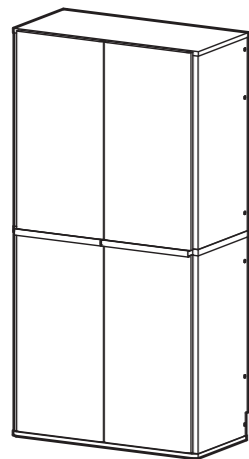
Model Name.

エルフォルム
室内物置

Model No.

LFM-1680LK-DB

完成図



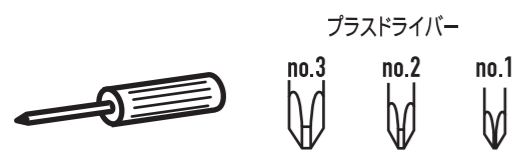
●まずは部品をチェック ✓ しましょう。

本製品を組み立てる際は、必ず2人で作業を行うようにしてください。

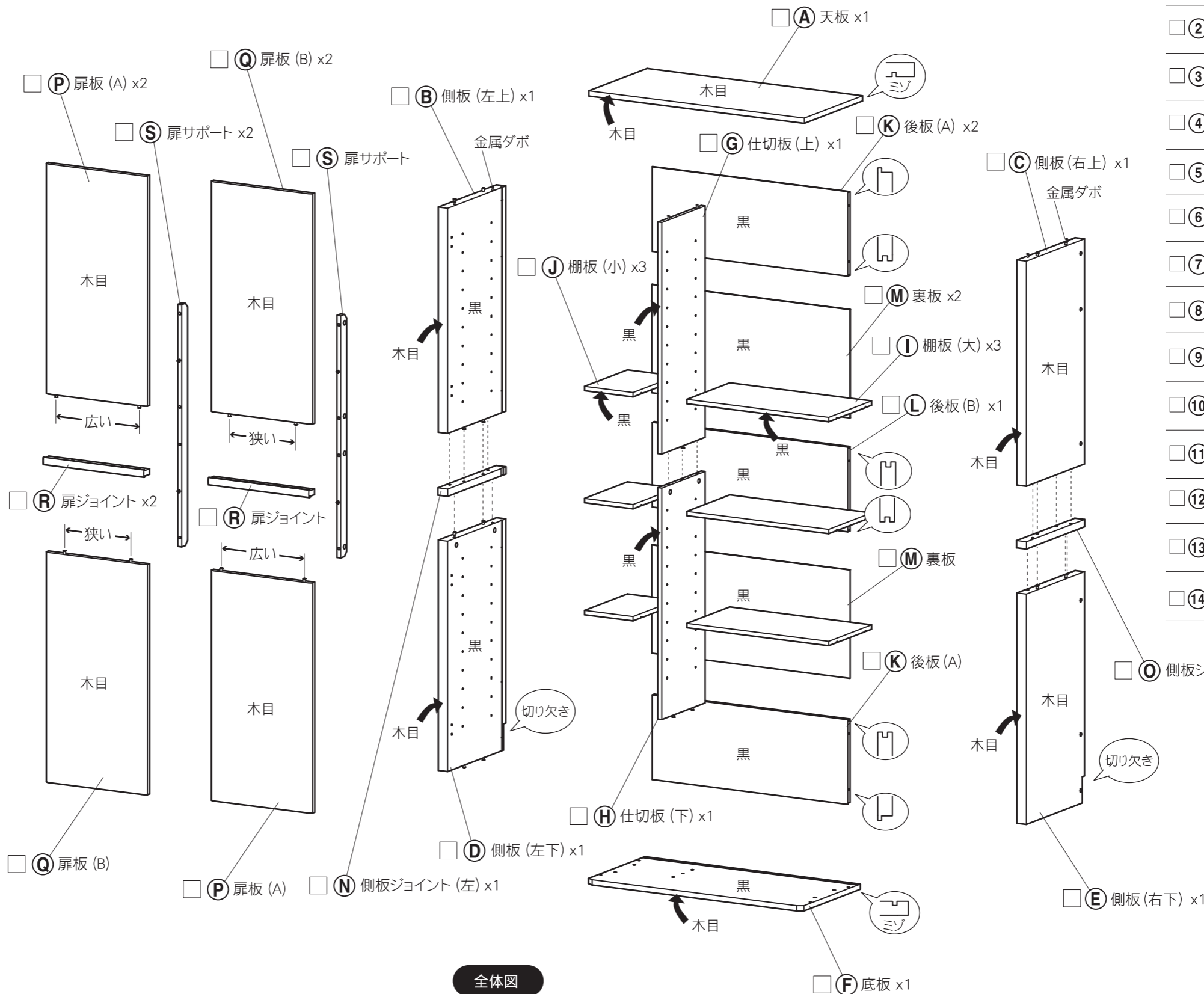
組み立てる時の注意点

- a) 本体を組み立てる時、ハンマーは直接たたかないで当て木又は厚手の古雑誌などをあててたたいてください。
- b) 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様に十分ご注意ください。
- c) この説明書は、捨てずに必ず保管してください。
- d) 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」においても必ずお読みになって、捨てずに保管してください。
- e) 接着剤塗布を指定してある箇所には、確実に必ず接着剤を塗布してください。尚、固まるまでの2時間程度は、家具を動かさないでください。

組み立ての必需品



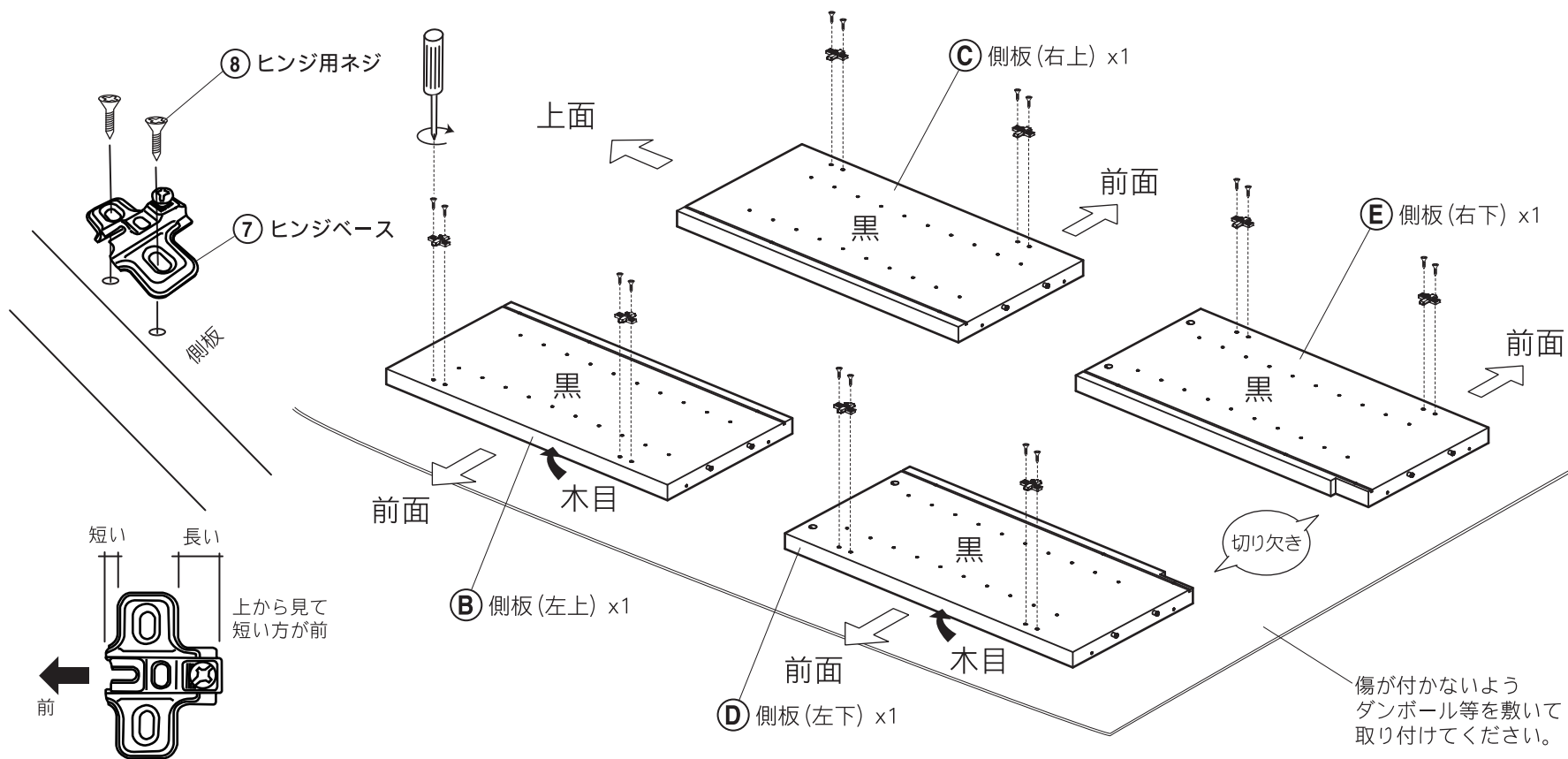
※ no.2 のドライバーを準備してください。



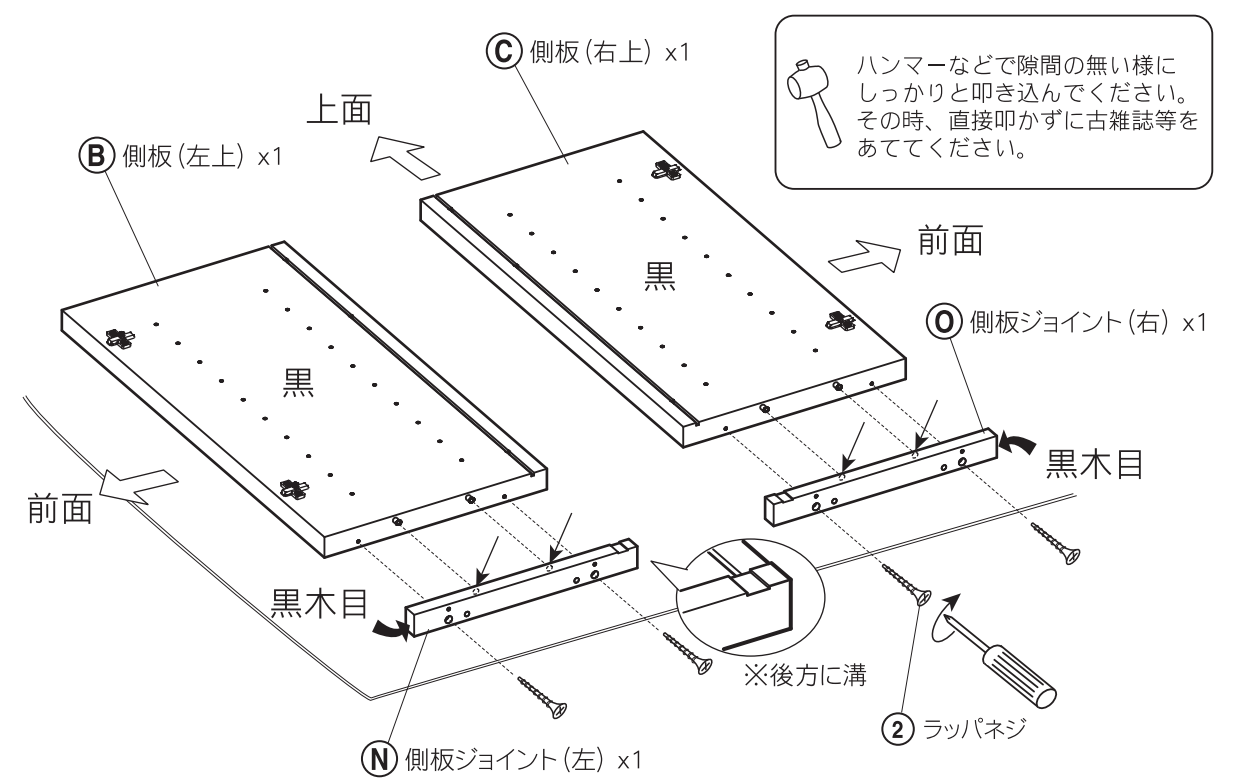
部品		
①	接着剤	1
②	ラップネジ	22
③	棚ピン	24
④	カムネジ	22
⑤	締め付けネジ	22
⑥	スライド ピンジ	8
⑦	ピンジ ベース	8
⑧	ピンジ用 ネジ	32 14mm
⑨	クッション	4
⑩	フェルト	4
⑪	転倒防止 バンド	2
⑫	転倒防止 バンド用 ネジ	4
⑬	ネジ隠し シール	12
⑭	ASAHI WOOD エンブレム	1

全体図

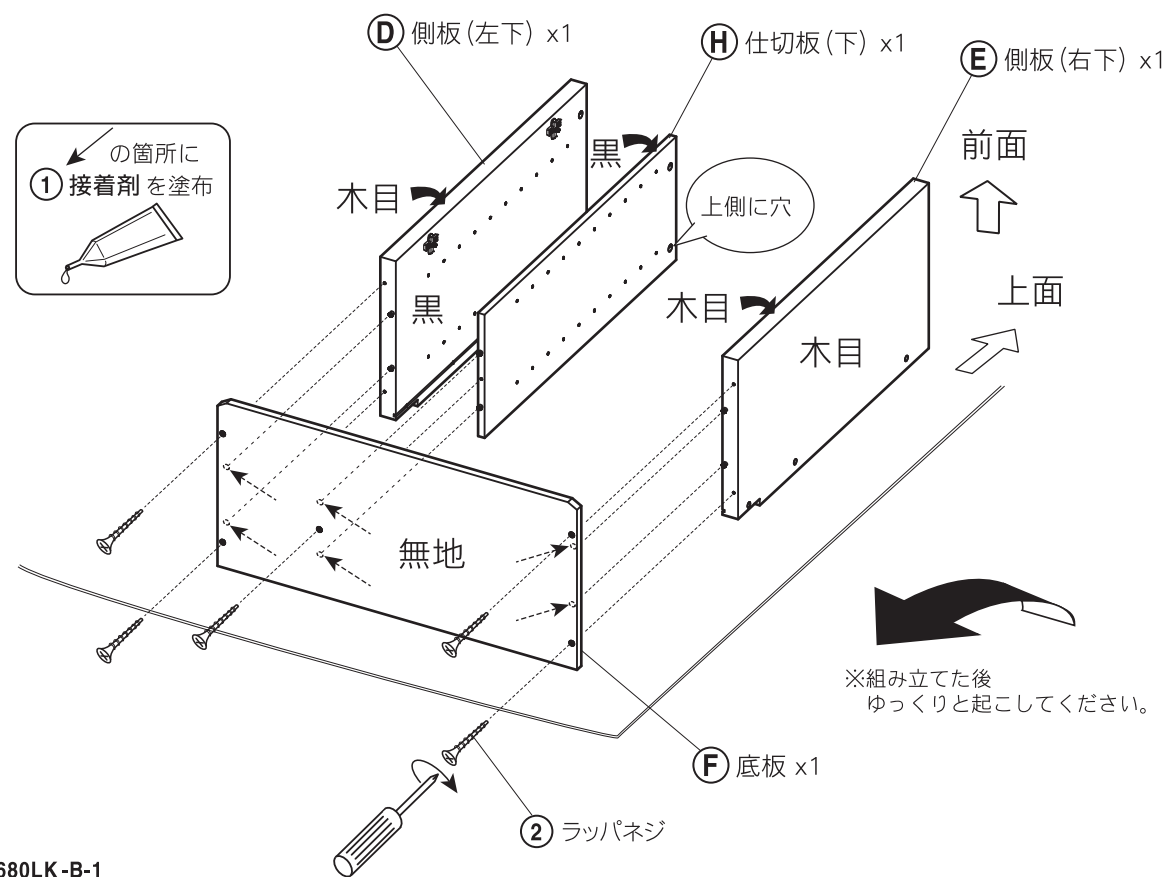
1 B C 側板(左上)(右上) D E 側板(左下)(右下)にヒンジベースの取り付け



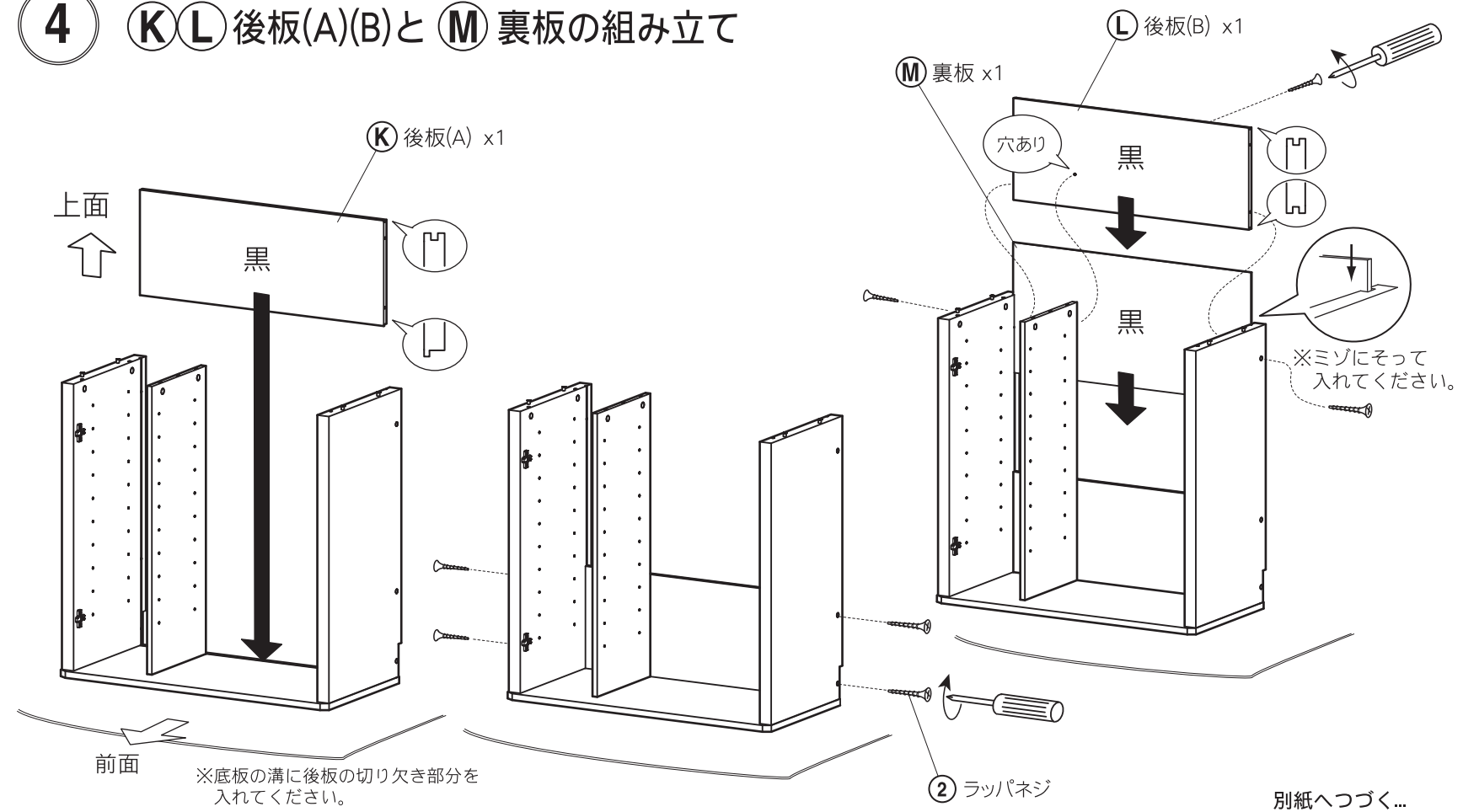
2 B 側板(左上) C 側板(右上)と N O 側板ジョイント(左)(右)の組み立て



3 F 底板と D E 側板(左下)(右下) H 仕切板(下)の組み立て



4 K L 後板(A)(B)と M 裏板の組み立て



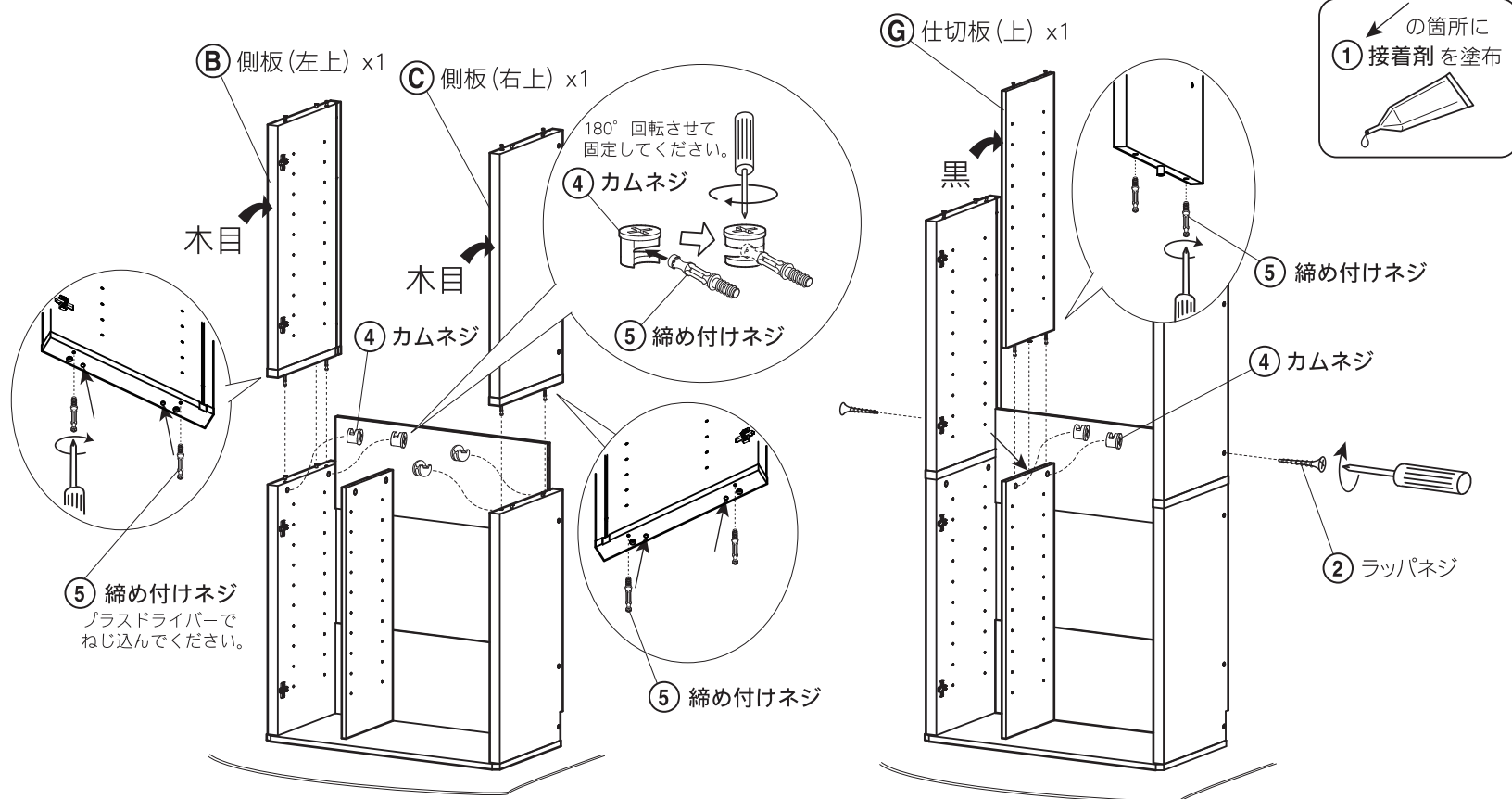
5 B C 側板(左上)(右上) G 仕切板(上)の組み立て

※1人で作業するとケガをする恐れがある為、必ず2人でゆっくり作業してください。2人で作業



組立前に側板・仕切板に締め付けネジを取り付けてください。

ハンマーなどで隙間の無い様にしっかりと叩き込んでください。その時、直接叩かずに古雑誌等をあててください。

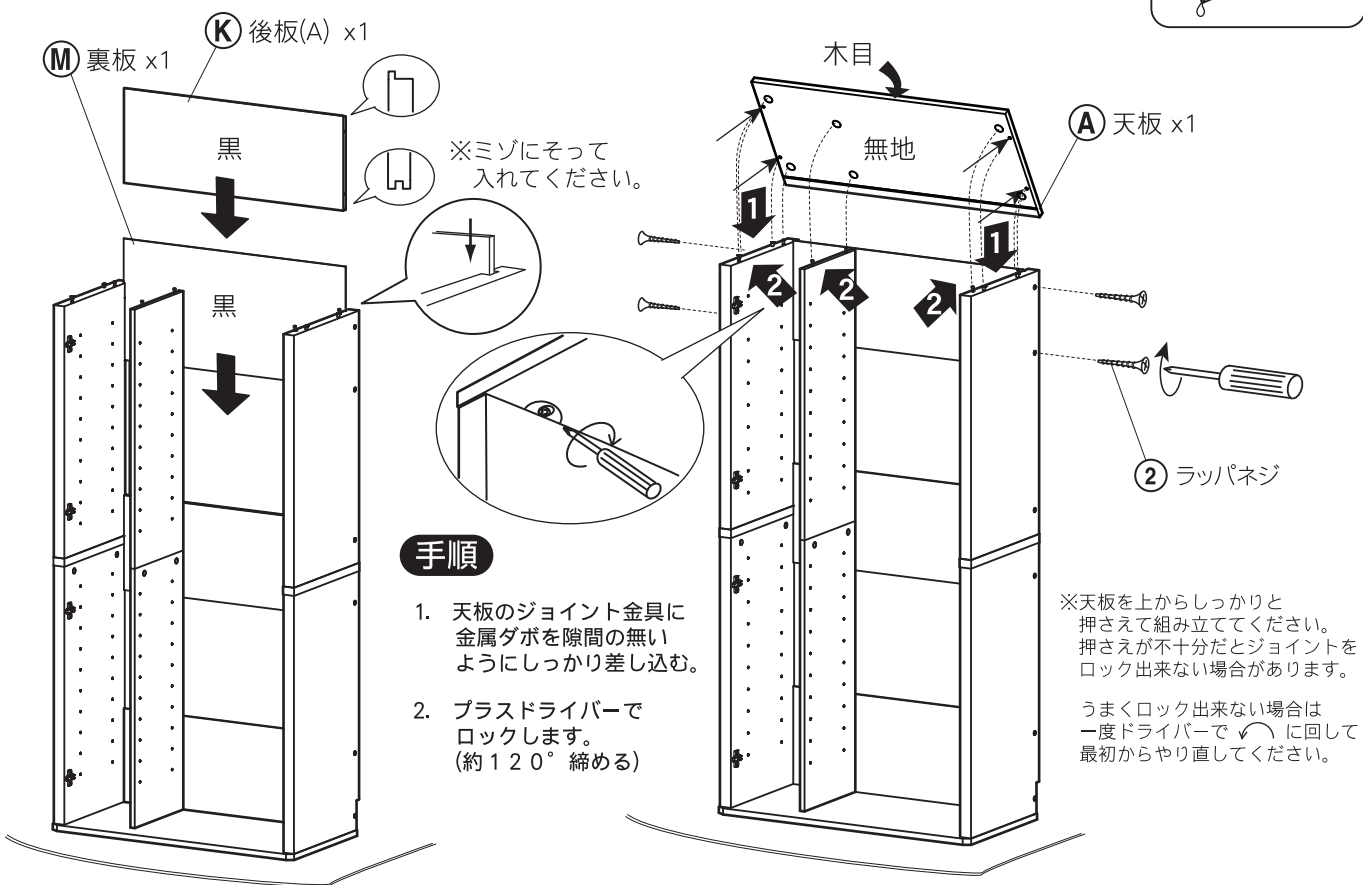


6 K 後板(A) M 裏板と A 天板の組み立て

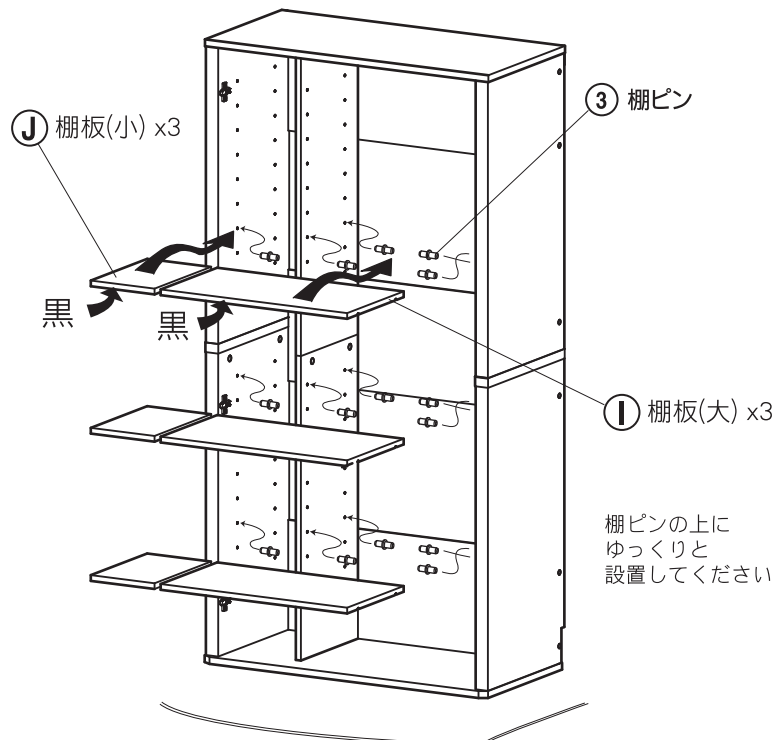


2人で作業

の箇所に
① 接着剤を塗布



7 I J 棚板(大)(小)の組み立て



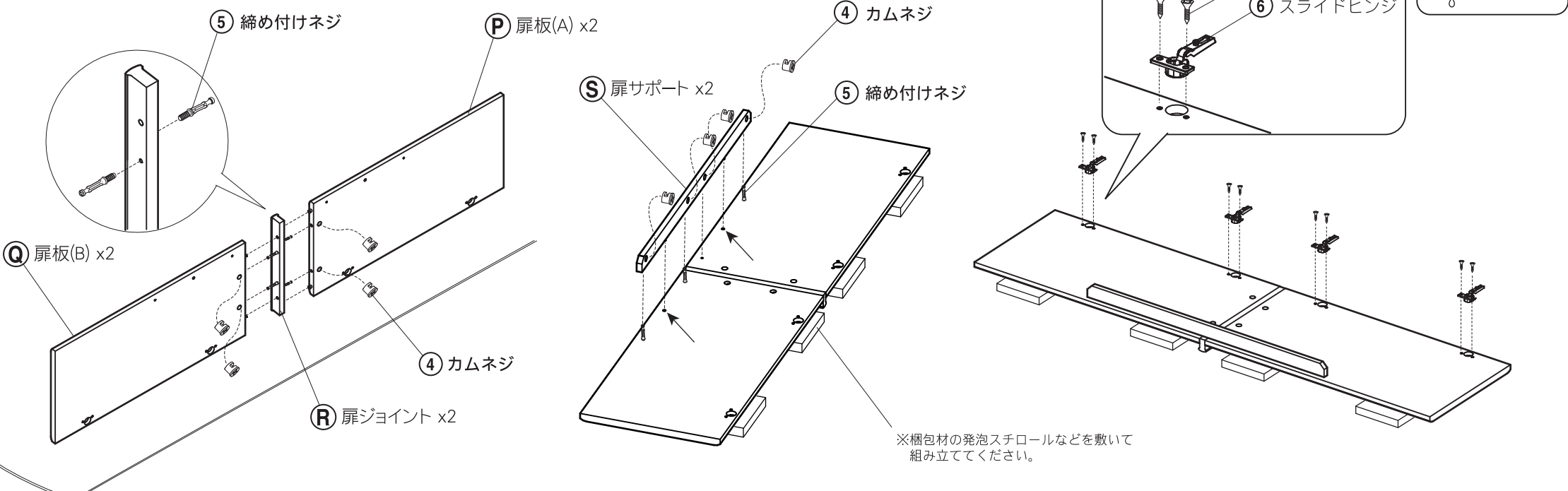
8 P Q 扉板(A)(B)と R 扉ジョイント S 扉サポートの組み立て

※工程5と同様の方法で締め付けネジとカムネジを用いて2セット組み立ててください。



2人で作業

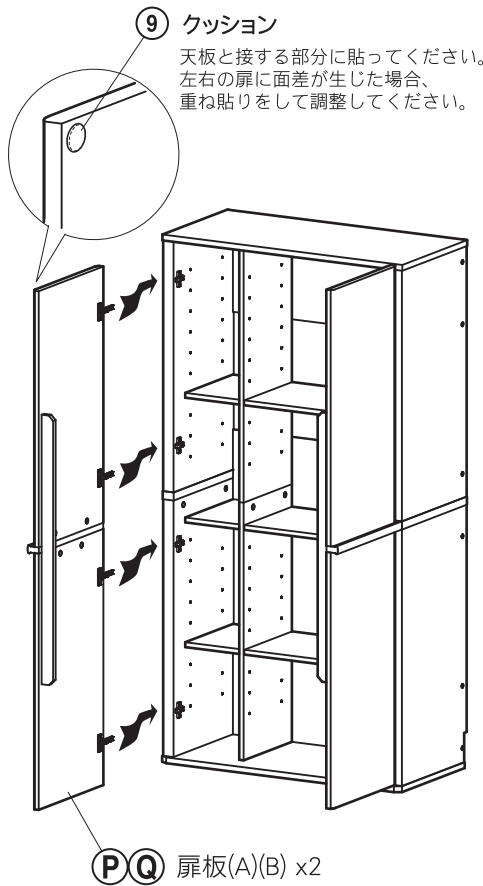
の箇所に
① 接着剤を塗布





9 P Q 扉板(A)(B)の組み立て

※1人で作業するとケガをする恐れがある為、必ず2人でゆっくり作業してください。



9 クッション
天板と接する部分に貼ってください。左右の扉に面差が生じた場合、重ね貼りをして調整してください。

P Q 扉板(A)(B) x2

スライドヒンジの取り付け方

- 1 あらかじめ2ヶ所(a、b)のネジをゆるめておきます。

3~5mm程度 はずれない程度
 ヒンジベース スライドヒンジ
- 2 切り欠きに通して奥にスライドさせます。

※ヒンジのスライドが困難な場合、ヒンジベースのネジを一度緩めてスライドが容易な位置に調整してください。
- 3 ネジaをしっかりと締め付けます。

次にネジbを軽く締めます。

スライドヒンジ 3方向 調整方法

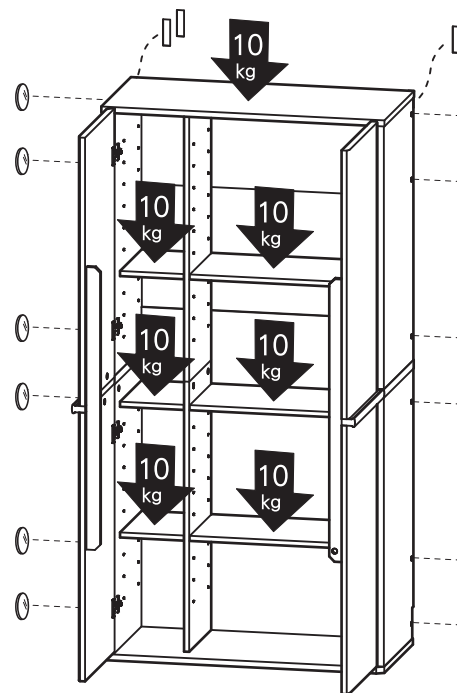
扉が下記の状態になった場合は・・・このネジで調整してください。

状態	調整ネジ
上下 にズレた。 	
前後 にズレた。 	
左右 にズレた。 	

10 できあがり!

耐荷重の目安

天板 10kg
棚板 10kg



10 フェルト
※傷防止の為、壁と接する部分にフェルトを貼ってください。

13 ネジ隠しシール

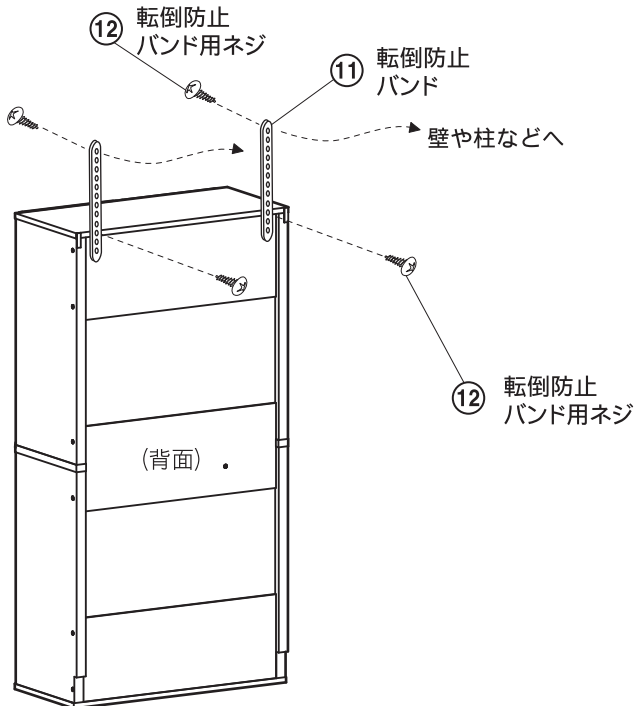
ASAHI WOOD

14 ASAHI WOODエンブレム
お好きな位置に貼ってください

※接着剤が固まるまで(2時間位)動かさないでください。移動の際は収納物を一度取り除いてから運んでください。本体が破損しケガをする恐れがあります。

転倒防止(前面方向)についてお願い

お子様が登ったり、揺すったり、押しついたりされると商品が前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。



使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

家具の置き方

①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材でしっかり固定してください。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。

②高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり(10cm位が望ましい)部屋の換気をしてください。

③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たらない様にしてください。家具が歪んだりする原因となることがあります。

ご使用にあたって

④引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり無理な力で引張ったりしないでください。家具が倒れてケガをする事があります。又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒する事があります。

⑤引き出しがついている場合、これをいっぱいに引出すと 抜け落ちてケガをする事があります。

⑥キャスター(移動用小車)付きの場合は、その上に乗ったり押し遊んだりしないでください。倒れてケガをしたりする事があります。

⑦家具の上に立ったり、踏み台代わりに使ったりしないでください。倒れてケガをする事があります。

⑧木材の接着剤等(ホルムアルデヒド)が残っている家具で人によってはアレルギー症状をおこすことがありますので、換気を充分にして取り除くようにしてください。

⑨取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは、棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。

⑩家具を移動する時は、落としたり倒したりして物を壊したりケガをする事がない様に手でしっかり持って運んでください。

⑪フタを開閉する家具は、手、足等をはさまないようにご注意ください。

保守・点検

⑫チョウバンや脚取り付け金物などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめてらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入った事も考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

PL賠償制度付共済



(社)日本家具産業振興会
TEL 03-3261-2805

ご注意

扉板を開いた状態でもたれかからないでください。本体が倒れたり、扉板が外れるなど、破損やケガの原因となります。

ありがとうございました。